

ぬまた 市議会だより

第76号

12月定例会

令和7年
2月1日



「沼田市議会だより表紙一般公募作品」

沼田准看護学校様から戴帽式のお写真をいただきました。
看護業務に従事されます皆さまに感謝と敬意を表します。

「戴帽式」 沼田准看護学校

議会だよりが皆さまにより身近なものとなり、議会の活動に一層の関心を持っていただくため、表紙に掲載する写真や絵などを募集しています。

引き続き、皆さまのご応募お待ちしております。

◆沼田市議会だより 表紙一般公募要項



◆応募はこちらへ

メールアドレス numa.gikaid18@gmail.com

本号の内容

12月定例会、請願、一般質問、子ども議会 など



沼田市議会HP

12月定例会

12月定例会は、12月3日から14日間開催されました。会期中、専決処分報告、沼田市水道事業給水条例の一部を改正する条例、一般会計補正予算（第5号）などの議案10件と請願4件の審議を行いました。また、6人の議員が一般質問を行い、市当局と活発な議論を展開しました。

水道料金を32年ぶりに改定 段階的に値上げに

人口減少・施設老朽化に伴い、料金収入の減少や施設の維持・更新に係る費用の増大が見込まれる中、将来にわたる安定した経営の観点から、水道料金の改定の条例改正案を賛成多数で可決しました。

改定については、令和6年4月18日に市長が沼田市水道料金あり方検討委員会に諮問、10月11日に答申を受けています。

一般家庭では税抜きで月額160～1,000円程度料金が上昇します。（上昇額は各家庭の水道使用量によって異なります）なお、検討委員会からの附帯意見を考慮し段階的な値上げとなったため、令和7～8年度は令和7年9月請求分から50～400円程度の料金上昇となります。

料金改定前 (税抜き)

	基本料金（1ヵ月につき）		超過料金
	水量	料金	1m ³ につき
一般用	8m ³	800円	120円
営業用	10m ³	1,000円	120円
浴場営業用	200m ³	4,900円	40円
臨時用	1m ³ につき	120円	



料金改定後 (税抜き)

	口径	令和7～8年度	令和9～11年度
基本料金 (1ヵ月につき)	13mm	900円	1,010円
	20mm	1,420円	1,600円
	25mm	2,040円	2,290円
	30mm	2,660円	2,990円
	40mm	4,010円	4,500円
	50mm	6,070円	6,820円
	75mm	12,910円	14,500円
従量料金 (1m ³ につき)		134円	150円

料金改定後の上昇額の例

令和7～8年度

(税抜き)

令和9～11年度

(税抜き)

口径	使用水量	改定前	改訂後	上昇額	口径	使用水量	改定前	改訂後	上昇額
13mm	8m ³	850円	900円	50円	13mm	8m ³	850円	1,010円	160円
	15m ³	1,690円	1,838円	148円		15m ³	1,690円	2,060円	370円
	20m ³	2,290円	2,508円	218円		20m ³	2,290円	2,810円	520円
	25m ³	2,890円	3,178円	288円		25m ³	2,890円	3,560円	670円
	30m ³	3,490円	3,848円	358円		30m ³	3,490円	4,310円	820円
	35m ³	4,090円	4,518円	428円		35m ³	4,090円	5,060円	970円

本会議での討論内容

条例改正に反対 (抜粋)

コロナ禍からの経済的回復が進まない中、物価高騰が市民の暮らしと地域経済をさらに苦しめています。こうした状況にある中、水道料金の引き上げが提案され、市民に不安が広がりました。

今臨時国会で成立するであろう補正予算の「重点支援地方交付金」を活用し水道料金の引き上げを抑え、市民生活と営業を支えるべきです。

条例改正に賛成 (抜粋)

物価高騰が家計を直撃し、市民生活が厳しい状態であることも理解しています。しかし、社会インフラ整備は適正に運営されなければ、日常生活はもとより、故障や災害時に市民を苦しめることになってしまいます。引き続き、料金についての補助制度の利用や費用節減の研究や住民説明を継続させることを求め、市民の安全安心のため、水道料金の改定に賛成いたします。

請願4件を審議し、2件を採択、2件を趣旨採択

戸神山正面登山口（戸神町側）

駐車場設置に関する請願書

審議結果 採択

付託委員会での主な意見

- ・年間7,000人を超える登山愛好者が訪れており、今後さらに増える可能性もある。
- ・文化面や健康増進面への影響といった、複合的な意味もある。地域住民の方の幸福度向上にもつながると考える。

・願意は理解できるが、場所の確保のめどが立っている状況ではないことから、まずはそういった調査・検討から始めるべきである。

ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める請願書

審議結果 趣旨採択

付託委員会での主な意見

- ・「第9期群馬県高齢者保健福祉計画」によると、介護関係の仕事を辞めた理由は「職場の人間関係」が1番目で「収入」は4番目。それぞれの事業者、運営者と関係機関の足並みの揃った取組がされない

と実現し得ないのではないか。

- ・命を守る仕事にふさわしい賃金に見直され、将来にわたって安定した医療・介護の運営体制が担保されなければ、配置基準の抜本的見直しは実現し得ないのではないか。

・高齢化の進展と給付費の増加により、国・県・市の負担が増加し、介護保険料等の増額にもつながる懸念がある。



本会議での討論内容

請願に賛成

（一部抜粋）

介護職員を増員し、賃金を引き上げるなど処遇を改善することが離職者を減らし、安心して介護に当たることができるとへとつながります。

賃金の引き上げと看護職の配置基準を見直し、安心して働ける職場環境を整えることは、安心・安全の医療を提供できることにつながります。

「食料自給率向上自治体宣言」を求める請願

審議結果 採択

付託委員会での主な意見

・食料自給率の向上は喫緊の課題で日本の将来にも関わることである。

・農業政策は国土強靱化や国防という意味でも必要である。

また、農業従事者と市当局には食料生産額についても向上させる取組を検討していただきたい。

・自治体が宣言を掲げることで、農家全体の意識が変わり、地域の農業振興や農業の担い手の増加、消費拡大の推進にもつながるものと考えられる。

・食料の輸入依存度を減らし、食料自給率を向上させるために、状況に合った政策を実施していく必要があり、自治体が当該宣言を検討し、実践していくことが重要である。



小中学校の大規模改造（空調（冷暖房設備）整備）事業の促進に関する意見書の提出を求める請願書

審議結果 趣旨採択

付託委員会での主な意見

・指定避難所としての体育館の空調設備の整備の必要性は十分理解はするものの、既に新たな交付金の創設を進めており、直ちに意見書を提出するのは性急ではないか。

・電力使用量や災害時等の停電時における電力供給に関する課題がある。

・避難を考えるなら、課題が存する体育館ではなくエアコンが整備済みである教室に避難することが効率的ではないか。



一般質問

観光政策・経済政策・環境政策について

小野塚 正樹



Q 上信自動車道の開通により想定される本市の観光客の増減等懸念事項はないのか伺います。

A 上信自動車道の開通により吾妻エリアでは大幅な集客アップが見込まれますので、真田街道推進機構や日本ロマンチック街道協会との連携強化を図り集客アップに努めます。

Q ドイツフュッセン市との姉妹都市提携の基礎は、ドイツロマンチック街道と日本ロマンチック街道の姉妹街道の締結です。街道を大切にしないことは姉妹都市提携を大切にしないことと思いますが、現状ロマンチック街道の課題について伺います。

A コロナ禍においてPR事業などを十分に行うことができない状態が続いていましたが、従前から行ってきた各種事業やPR活動の積極的展開が必要であると考えています。

Q 朝夕の沼田インターチェンジ付近の渋滞については、観光の機会を逃し、市民生活に大きな

負担になっていますが解消に向けた考えを伺います。

A 根本的な渋滞解決の方法は、お示しすることはできませんが、渋滞解消に向けた原因分析などを進めていきたいと考えています。

Q 地域猫や野良猫を増やさないために、市の取組について伺います。(3匹枠の拡大について)

A 不妊・去勢手術の費用の一部を補助しているほか、「さくらねこ無料不妊手術事業」に参加しています。

【その他電子地域通貨・モバイルバッテリーの廃棄等質問】



姉妹都市締結の基礎となったロマンチック街道

森林と農地を活用した新たなビジョン

桑原 敏彦



Q 都会ではできないドローン測量や伐採作業などが体験できる2拠点教育を核とした関係人口増加への取組について伺います。

A 市内の就業や将来の移住につながる可能性があるので、関係団体等と情報共有を図り、研究していきたいと考えています。

Q 地球環境保全と景観の向上を図るため、間伐材等を有効利用した斜面安定工の促進について伺います。

A 森林の保全と資源の活用の中で有効ですが、強度や耐久性、耐光性、コストなどに課題があるため、バランスを考慮の上、研究したいと考えています。

Q 環境性能を重視したLCCM住宅等の普及促進について伺います。

A 地球温暖化への対策としてのゼロカーボンシティ宣言の趣旨を踏まえ、国の政策や補助制度なども含め、市民への周知や普及方法を研究、検討したいと考えています。

Q 水稻栽培における中干し期間の延長を行い、企業連携によるJクレジットのメリットを生かした農業の活性化について伺います。

A 作業手順が多くなるなどのリスクを稲作農家に理解していただく必要があります。農業者等と意見交換を行い、研究したいと考えています。

Q 果樹剪定枝等を利用したバイオ炭クレジットの導入について伺います。

A カーボンニュートラルの実現、クレジット販売による農業者の経営安定に資するものと認識しています。農業者、関係団体等と意見交換を行い、研究したいと考えています。



二拠点教育による林業体験の様子

市政を問う!!

沼田市の土砂条例と二次産業の今後について

茂木 清七



Q沼田市に持ち込まれる土砂の安全性について伺います。

A500㎡以下、3,000㎡未満が対象で、搬入する土砂の排出元証明書と土壌検査証明書を添付した届出書の提出が必要であるほか、搬入の期間や量に応じた安全性の確認を行っています。

Q土砂搬入の際の道路破損への対応について伺います。

A道路破損への対応は庁内の関係部署が連携し、道路法に基づき適正な管理を行っています。

Qコンニャク価格低迷に対する対応策について伺います。

A消費の低迷や安価な輸入品などにより、経営継続に大きく影響する問題であると認識しています。収入保険の加入推進に取り組むほか、国や県への要望活動を行うとともに、「トウキ」への作目転換を応援する薬用作物生産基盤強化対策にも取り組んでいます。国の働きかけによりコスト上昇分の価格転嫁に対する施策の創設や消費拡大のPR、輸

出拡大や財政的支援策などに努めていきたいと考えています。

Q国の求めるネイチャーポジットに対する沼田市農林業分野の取組について伺います。

A環境に優しい農業の実現に向けて、国のチェックシート方式を採用し、環境負荷低減の取組、鳥獣害対策については適切な個体管理に努めています。

Q耕作放棄地の解消に対して沼田市はどのように取り組んでいくのか伺います。

A本年度策定を予定している「地域計画」において、農業者や地域の関係者がともに目指す将来の農地の在り方について共通のビジョンを持ち、耕作放棄地の解消につなげたいと考えています。



コンニャクを使用したしらたきサラダ

新年度予算編成 マイナ保険証 平和行政

大東 宣之



Q市政の課題をどのように認識し、新年度予算編成で対応を検討しているのか伺います。

A令和7年度の予算編成方針は、課題解決の実践、市内経済の活性化、生活基盤の整備および子育て支援等の未来への投資など、市民生活の安定と向上に資する施策の充実を図るものとして、予算編成に臨んでいます。

Q市民の満足度、安心感を得るための施策はどのように検討されるのか伺います。

A長期的な展望を持って、課題解決に向けた施策を検討し、社会、経済状況の変化や市民ニーズを的確に把握し、施策に反映させられるよう努めながら、市民の満足度や安心感の向上につなげていきたいと考えています。

Q国民健康保険証廃止後の対応は、どのようにされるのか伺います。

Aマイナンバーカードを所持していない方については、各保険者が交付する資格確認書等によ

り、医療機関等を受診できることとなっています。

Q平和行政にどのように取組み市民への啓発にどのように取組むのか伺います。

Aパネル展などの啓発事業を中心に、本市の平和活動への取組を市ホームページや、広報ぬまたへの掲載、SNSを利活用しながら、何よりも大切な平和への意識が高められるよう、啓発していきたいと考えています。

Q「青い目の人形」の周知にどのように取組むのか教育長に伺います。

A子どもたちや市民の皆様が、平和や友好親善について考える上で活用できるよう、関係課とも連携し、取組を工夫していくことも必要と認識しています。



利根小学校の「青い目の人形メリーちゃん」

一般質問

地域活性化と沼田市のPRについて

齋藤 智



Q 沼田市のふるさと納税の現状について伺います。

A 令和5年度のふるさと納税受入額は前年度比114%、今年度は11月末時点で前年度同月時点と比較し、約50%増の状況で、大幅に金額を伸ばしています。

Q 沼田市のガバメントクラウドファンディングの現状について伺います。

A 本年度は「沼田まつり」「テレビアニメ菜なれ花なれ」において実施し、「沼田まつり」は14万5,000円の寄附金額となり、「菜なれ花なれ」は11月28日現在、242万4,000円の寄附金額となっています。

Q 市内の魅力の発信を目的としたSNSを活用したコンテストの実施について伺います。

A 本市の魅力を広く知っていたく手段として、SNSは非常に有効です。本市でもSNSを使い、タイムリーな情報発信に努めています。また、沼田市観光協会では「ニャンとワンダフ



SNSを活用した沼田市のPRイメージ (AI生成)

ルフォトコンテスト」を、沼田市では「沼田フォトコンテスト」を実施しています。

Q 街並みや自然環境を活用したロケ地誘致について伺います。

A 市街地の街並みや自然、グルメに関する情報がメディアで紹介され、それらを目的に多くの方にお越しいただいています。最近では「菜なれ花なれ」において、「聖地巡礼」の人々で賑わいを見せています。ロケ地の誘致については「沼田市観光協会」や「ぐんまフィルムコミッション」と連携を図り、「ロケーション環境のよい街」として業界関係者に認知されるよう、引き続き、取組んでいきたいと考えています。

誰にも優しい住みたい沼田のまちづくり

星野 妙子



Q 高齢者・交通弱者の移動手段である公共交通の現状と地域課題に沿った多様な移動手段について伺います。

A 人口減少や自家用車の普及により利用者の減少傾向が課題です。乗り継ぎや運行時間の制限等の課題があり、地域特性に応じた多様な移動手段について研究していきたいと考えています。

Q 上水道料金改定において、市民の理解を得るための丁寧な説明と進め方、および「沼田市水道料金あり方検討委員会」が要望した附帯意見について伺います。

A 市ホームページ、広報ぬまた、チラシ全戸配布等で丁寧な説明に努めていきたいと考えています。附帯意見は、市民生活への影響を与える料金改定について踏まえたものとして大変重く受け止めています。

Q コンニャク芋価格大幅下落に対する支援対策とコンニャク需要拡大につながる「しらたき」PRについて伺います。

A コンニャク芋販売価格が上昇せず、生産現場は厳しい状況です。経営持続を図るため「トウキ」などへの作目転換の応援にも取り組んでいます。農協や市内コンニャク部会・研究会と連携し販売促進につながる「しらたき」PR実施について検討していきたいと考えています。

Q 沼田城建設要望に対する沼田市の対応について伺います。

A 全市民的な議論が必要であると考えます。沼田城跡の構造や歴史、史跡の上位指定を目指して調査した沼田城跡発掘調査総括報告書の提出を待ち、内容を十分に精査し対応を検討していきたいと考えています。



沼田の基幹作物
コンニャク芋

子ども議会

昨年11月16日「子ども議会」が開催されました。小中高生25名の皆さんが、児童・生徒ならではの鋭い感性と柔軟な発想で沼田市の活性化に係る政策提言などについて堂々と一般質問を行い、市長・教育長に答弁を求めました。

事故も心配です。

私たちが安全に学校に通うためには、スクールバスや学校の移設が必要だと思います。

答弁概要

高低差のある河岸段丘や、交通事故や不審者、熊やイノシシ等の鳥獣による被害防止の観点から、学校や保護者、教育委員会、警察、道路管理者、地域住民等が連携して、子どもたちの安全・安心の確保に努めています。

スクールバスの導入も研究していますが、児童の通学時間、始業や下校の時刻、財政面の負担や教職員の勤務時間などを含め、小中学校の統廃合と合わせて、学校の移設や通学方法など、検討を行っていきます。

質問概要

野球部は人数が集まらない学校も多く、合同チームを入れた少ない学校数で大会が行われていました。そのため、統合して



各校代表の子ども議員

学校数が減ることです市大会が開催されるのが心配です。部活動が地域移行していく話も聞きました。大会で競い合うことで大きく成長できたので、これからも市大会が開催されてほしいと願っています。統合後の部活動の在り方について、教えていただきたいです。

答弁概要

複数校で合同チームを編成している種目や、欠員のまま団体戦に出場する学校があるなど、従来の体制のままでは運営する



ことが難しくなってきました。そのため、昨年度から、沼田市地域クラブ活動推進協議会を設置し、今後の部活動の在り方について検討を進めています。

部活動を地域に展開することで、チャレンジしたい活動を継続的に取組める環境や、専門的な技術指導を受けられる仕組みの構築、多世代交流による地域全体の活性化等を目指して取り組んでいく考えです。

質問概要

沼田市は豊かな自然環境に恵まれており、森林文化都市として発展していくことを望んでいます。自然環境を守りつつ、持続可能な都市の実現をどのように考えてでしょうか。

また、今後の具体的な計画を教えてください。

答弁概要

本市にとって自然は最大の魅力であると考えております。「沼田都市計画マスタープラン」を策定し、「豊かな自然とまちの魅力を活かした、こころ豊かに暮らせるまちづくり」を基本理念として、まちづくりに取り組んでおります。

行政調査

報告

沼田市議会では、各常任委員会ごとに先進自治体等の行政調査や管内調査を実施しています。今回は、経済建設常任委員会の調査の概要をお知らせします。

経済建設常任委員会

景観計画の策定や景観を生かしたまちづくりなどの調査研究を行っている経済建設常任委員会では、11月12日に新潟県南魚沼市の牧之通り^{ほく}における住民主体の、雪国の歴史と文化が感じられるまちづくりの調査を行いました。

牧之通りの整備とまちづくり

牧之通りは、県道仲田塩沢線の一部で、旧塩沢町の中心市街地で旧三国街道の宿場町として栄えていましたが、路肩が狭く積雪時や通学時は危険な道となっていました。



地元では、こうした状況を改善するため、平成11年に「県道仲田塩沢線を拡幅する会」を設

置し、県に道路拡幅・歩道の設置を要望することとなりましたが、県の公共事業予算減少の中、まちづくりと一体で取組むことで事業を進めてもらえるのではないかと考え、平成12年に「塩沢らしいまちづくりを考える会」を設置しました。

その中で、自分たちが住みやすいまち、後世に誇れるまちなどについて議論し、雪国の歴史と文化を生かすまちづくりをコンセプトに「牧之通り組合」を設立しました。

牧之通り整備の取組

牧之通り整備の特徴は、地元を中心として県・市が連携し、三位一体で事業を推進したことでした。

県は、道路拡幅と物件補償を行い、市は、接続部分の市道の整備やポケットパークを設置し、地元では、物件補償を活用して建て替えを行う際には、統一し



たデザインルールに沿って行い、街並みをそろえるようにするなど、合意形成は地元が自ら行いまちづくりに取組みました。

平成22年に整備は完了し、雪国らしい統一された街並みは、国土交通省の「都市景観大賞」を受賞しました。

沼田市の今後の取組に向けて

沼田市には、玉原高原の自然や河岸段丘、吹割の滝など豊かな自然景観や田園風景が広がり、中心市街地では大正ロマンエリアが整備されており、真田氏の歴史も感じられます。

こうした景観を生かしたまちづくり、景観整備を行うことは、沼田市の魅力を高めることへとつながり、観光や農業などにも生かす検討が必要と感じました。

次回定例会の日程

次回定例会は、2月25日（火）からの予定です。
インターネット中継も行っています。



編集後記

沼田市では、将来を左右する重要な課題が多くあります。最近では、学校統廃合の話がありました。児童生徒数の減少が進む中、教育環境の充実を図りつつ、地域コミュニティの核としての学校の役割をどう維持していくのかが検討されています。各地区で開催された説明会では、保護者や地域の方々から切実なご意見が寄せられました。

また、水道料金の改定についても、施設の老朽化対策や将来の安定供給に向けた整備の必要性和、市民生活への影響を考慮しながら、慎重な審議が重ねられました。

寒さ厳しい季節ではありませんが、これからも市民の皆様との目線に立ち、議会での議論や決定事項を分かりやすくお伝えできるよう、編集委員一同努めていきます。暮らしに直結する情報をより充実させ、開かれた議会を目指していきたいと思えます。

編集委員 齋藤 智

議会だより編集委員会

委員長 星野 妙子
副委員長 小野塚正樹

副委員長 鈴木 齋藤
委員

誠 智

今成 山宮

敦子 敏夫

高柳 齋藤

勝巳 育子

相澤 大東

宗利 宣之

井上

弘